

# 労働安全衛生

おかやま労働安全衛生センター  
 岡山市北区春日町5 - 6  
 岡山市勤労者福祉センター内  
<http://ww41.tiki.ne.jp/~oka2012ro-an>  
 086-238-4911 fax086-232-3714

## おかやま労働安全衛生センター を設立しました

### 設立にあたって

所長 平方健一



懸案であった「おかやま労働安全衛生センター」が4月13日設立され、所長に選出されました平方です。

これまでは、「ひょうご安全センター」や「中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会岡山支部」の協力・指導していただきながら、県下のアスベスト被災者の掘り起こしを中心に活動してきました。

まだまだアスベスト粉塵を吸引し苦しんでいる被災者は沢山いるはず。これからもアスベスト被災者の掘り起こしを中心に労働災害や精神疾患で悩んでいる労働者が多発しているなかで、そうした問題にも相談にのり、少しでもお役に立てたらと考えています。しかし、何分経験不足であり、当面は全国労働安全センターの仲間や「患者と家族の会」の指導や支援を受けながら活動していき、一日も早く自立できるよう頑張っていきたいと思います。

これまでの「岡山アスベスト裁判を支援する会」は解散し、活動は「おかやま安全センター」に引

き継ぐことにしましたので、引き続きご支援をよろしくお願いたします。

最後に、会員の拡大と会員のみなさんの協力をよろしくお願いたします。

### 70名参加のもと結成

おかやま労働安全衛生センターは、2012年4月13日（金）18:30から70名余の参加者のなかで、結成総会を行いました。

今日まで、ひょうご安全衛生センターのお世話で「アスベスト患者と家族の会」・「岡山アスベスト裁判を支援する会」の発足とアスベスト疾患の支援活動と相談を行ってきました。また結成にむけて準備会を2011年5月19日に立ち上げ準備してきました。また労働安全の相談にむけての学習会も、「労災職業病ノウハウ」・「精神疾患と労災認定」の学習会も重ねてやっと結成に至りました。

参加当日は、地区労傘下の労働者はもちろん、アスベスト疾患の患者と家族、倉敷・新見からも駆けつけていただきました。

総会最後は、全国労働安全衛生センター事務局長の古谷杉郎氏による「結成の意義と今後の取組」として、世界の安全センターの動きを中心にした記念講演で幕を閉じました。



## 多くの人たちが支えに

顧問には

岡山大学院環境学研究科 津田敏秀教授  
川崎医科大学衛生学 大槻剛巳教授  
弁護士 奥津 晋 氏  
の3名の方が顧問に快諾していただきました。



また、ひょうご労働安全衛生センター、  
関西労働者安全センターをはじめ全国の  
労働安全衛生センターの仲間、そして  
アスベスト患者と家族の会の仲間、社会  
保険労務士の仲間、など多くの人たちが  
周りから支えてくれます。

## 労働安全や労災申請など 活動方針を決定

2012年度活動方針の主なものは、以下の  
内容です。

1. 労働者の安全と健康に関する相談活動
2. 労災申請の支援、被災者支援活動
3. 相談事例などの学習会
4. 職場の安全パトロール
5. 行政機関などへの要請
6. アスベスト被害者への支援

## 最近の相談事例

アスベスト胸膜中皮腫疾患患者の相談  
原因は不明で、調査中

アスベストが原因の肺線がん患者  
労災不認定の決定を受け再認定の相談  
現在、労働局へ情報開示手続き中  
パワハラによる精神疾患患者からの相談  
労災認定（療養）の申請手続きのため、  
職場の仲間の証人探し中

## アスベスト裁判支援のお願い

1. クラレ・山陽断熱アスベスト損害賠償  
訴訟裁判  
クラレ工場で断熱作業によりアスベ  
スト疾患その遺族と本人が損害賠償訴訟
2. 労災認定裁判  
ニチアス社員で出向しアスベストの吹  
き付け工事により労災認定となり療養  
中苦しみから自殺。認定ならず。
3. 三井造船石綿損害賠償訴訟裁判  
三井造船玉野事業所で船内外でぎょう  
鉄作業をおこない、アスベスト粉塵を  
吸入アスベスト疾患。
4. ニチアス・ナカハラ築炉石綿損害賠償  
訴訟裁判  
ニチアスの下請けのナカハラ築炉で働  
き、大量のアスベスト粉塵に曝露し肺  
がんを発症した。

### 裁判予定

- 6月19日（火）10:00～  
三井造船裁判
- 7月3日（火）11:00～  
クラレ・山陽断熱裁判
- 7月10日（火）16:50～  
ニチアス・ナカハラ築炉裁判
- 7月11日（水）10:00～  
労災認定裁判

**傍聴よろしくお願ひします**